新板
絵入
中將姫雪踏
一之巻

特別
へ13
3446
1

特
門へ13
3446
1

叙

[illegible]
[illegible]
[illegible]

面影を古人に伝へんとすれば
撰者の心の御意如何の事のいと難きを
凡愚の分際にて撰の業を滴て
四つの巻につづけく撰の業極少に
らずかの言葉の所なき事の所
寿唐云
書功

其笑
作者八文字
瑞笑

中将姫稽古遊

一之巻

目録

第一 恵信尼の御かぎまて枝をもるあれ松風
再び都に酒吹ひらけて連理の初花
姫の重病なれども継母の言葉
病冠をうけて親の対面の後

第二 いひ流せしの意を吾思ひ水流れ
まの魚流れ仏たて吾は難と弟の雖
まてる樵歌まま流まま常と思
暫果て安らぐ流れ流れ流れ
第三 嫉妬の誠を流を流
分抱と流れ流れ親まま
流れぬ貞安ハ流の絶切てる桃家の刺快
そちの便ぬがこうち快ハ弟らおれの捌

㊀恵ハ法を紀流れ法を捨て投とあるまぬ打用
唐土の周武叔ハ潤泥の山 蓮と書して閑的書庫の紀とのべて。
一章の流と流やすして流と流れ流れ。
あざむく霧と霞の霧の霧ある牡蠣の流と
流れぬく只流れの知裏敬下の霧花と流れ流れ
として佛と世ど主とくるお女ハ髪かくしたちの月出髪かくんとてて。
流れまく弟子流れ弟子流れ面紙芝居と流れる紙流れ
あまといまめ流れまでめでさかくんハいつもくるる。髪ちる
彼女髪実と作我儀ちくる一夫の節俗と立とくる清。
まくるお河北女の揺ちる庵し。奥に巻藻天宮ハ女帝ぬ
寂寞猫ちる庵ち流氏とめぐるの流とくる。かまて八仏法の絶張

[illegible]ぞふ[illegible]仁徳[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]ぞ

やうにいまいましきせつなの事思惟のうへ有まじき岩穢のあのんを
たすけよ感じ給ひしかうくるまの門にてそこ後ぎっと我ら方へ山あつけ
ものとぶ。後ろまき形ひ色ものうとうとうと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ごとくなれども、ほとんど知らず。まさしく人の沙汰せるを聞くに、
伊勢のやうにて、伯母なる者、
[illegible]
番ぶ血の涙で目もとろとろとくもりて、
[illegible]
ふさるるとて、[illegible]
[illegible]
いつもぬれさぶくろ[illegible]
[illegible]
いうとけつく君のあるようにびっくりかの少年
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

仰のおりをとりあつめ給へども法をとりたてゝ
きらせ給ふ事なくして法華ばかりをもつぱらに
崩壊業にてもなくしらひあるまじきの風俗を捨てゝ
いつぞやひぶん胡乱なる物ども
ゝんもよのなかいぶくて者様のおそろしきよ
まさに神のたゝり也。越礼拝ん仏様の毒手百のひとく
いてあいてゝ其の福神あまりの世間へ流布して
世の中をなげき給て論言ゝ
ぶくゝんひゝゝよ異学をかくはるまへこの法をして
密くゝ藤治とゝへ出来
いてゝ出ぶくゝんはてゝ
ゝとあ出まいりゝゝ他
ゝとおゝゝ悪業の一筆
ゝけんも石橋を遠に渡りまてもあづりの風
ゝ実ゝりあゝ出ゝ人ゝの仕合ゝの後ゝ実ゝ法日ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]のうち眼ぐいとりひまひろ[illegible]かくあさましきさいさづき
[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]ぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きつの事にて殺生ばかりやる殺人の業をまつてたとまつたくてり。
そこらあたりの男伊達にて名をきき者ども。サア四位の人ほどをあつれと。
諸侯の番頭に面倉さんさつきり。伊達ぶりの殺人ども。
人ども。くるくるとうるさくあるでんれば武士のまつりごとの明人の
かつてつかつてつひとけのうきまつもぐにアセしつかされ
てひとまの男ハ福嶋の張ぶべきまつこのふつハでまつ見て顔
殺人をつめぶつてもんせつつとごの年やびやつこと
女こんはつまてこうふ年やよりのそんでみることるまついさしいび
ひとつと入とんでいのぶやあ〜出入ちぶてみさしひ〜ファイ〜ちつくる
ぶ年にまつまて町中の強初指とくあるまいさと奴ぶたつじ
初めつてこんよりのやまちとせこかゆぴいこちのだんびくものふる
きつてこんと年いこんまづ

てあ出とぶ殺ぶてうんあとまつうこ
ふぶびれるぶ小番ハ年ハてんまた
いこつつてよんひまとまいこかつのかるとつこ神ぶ
動機のあ示ちあの年ちるせ
役西ぶ年あ且町人のあぶんま
めちとせこうとぶ奴ぶつすぶしこ
ちぶぶこひかつぶ年八張こ
つこのめこせひちつもこせてひびのこちの作百
の長杯とまも出こせぬやちぶ今ぶたつのこぶ結こせ
びぶりよ述ちめ会ちると。悪多五者こいりく文殺ぶつこ
ふんぶ多ちの年人の男色時の花沖ぶ分かつ面ひとてかちいさげよこ
んぶでんしぶもちまいこ年ハ都ちまこせていこ年ちぶ見ぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一之巻終